

研究課題番号	SⅡ-7-2
研究課題名	深海大型生物相の環境 DNA によるモニタリング法の開発
研究実施期間	令和2年度～令和4年度
研究機関名	千葉県立中央博物館
研究代表者名	宮 正樹

1. 委員の指摘及び提言概要

深海性魚類については想定以上の成果が得られていると評価する。研究目標は十分達成しつつある。成果として、Ann Rev が出されている点は、高く評価したい。環境 DNA を使った水産資源の評価などもやられており、深海での特異性など、研究の意義をさらにしっかりとアピールする必要があるだろう。モニタリングを継続する場合の指標をどのようにするかデザインが必要。eDNA によるモニタリングには、圧倒的なメリットがあると同時に、本質的なデメリットについても考察しておいていただきたい。

2. 採点結果

評価ランク：S